



2025 Super FJ Race report



Super FJ 鈴鹿・岡山シリーズ 第 6 戦

SUZUKA CHANPION CUP RACE

2025 年 12 月 6-7 日 天候:晴れドライ 参加25 台



スーパーFJ 地方選手権鈴鹿・岡山シリーズもいよいよ最終第 6 戦を迎え、12 月 6 日には翌 7 日の決勝に向けて公式予選が行われた。

シリーズリーダーはここまで 82 ポイントを獲得している酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)。ランキング 2 位には吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)の 67 ポイントで続き、その差は 15 ポイント。一見大きく見えるが、有効ポイント制のため、1 戦リタイアしている吉田選手に全ポイントが加算されるのに対して、全戦表彰台に登っている酒井選手は 1 戦分が加算対象から外れる。そのため吉田選手は優勝すればたとえ酒井選手が 2 位入ってもチャンピオンを獲得できる。

公式予選

公式予選は午後 2 時 40 分から 20 分間で行われた。鈴鹿は早朝より小雪が舞うほど冷え込んだが、天候は回復し、快晴となると徐々に気温は上昇。それでも日陰に入ると底冷えする寒さだ。

参加台数 25 台(うちジェントルマンクラス 4 台)がコースイン。ポイントリーダーの酒井選手は、もっとも最終コーナー寄りのピット位置だったため、トラフィックを避けるため最後にコースに出た。気温が低いので各車 2~3 周をウォームアップに当てる。

4 周目、ランキング 2 位の吉田選手が 2 分 14 秒 246 をたたき出しトップに躍り出る。2 位は宮本颯斗選手(MYST KKS2)の 14 秒 920 だが、吉田は早くも大きなリードを築く。3 位には杉田悠真選手

(LAPS with REV RACING GARAGE)が続く。

6 周目、吉田のタイムは変わらず。地元鈴鹿在住の鈴木七瀬選手(ネットヨタ三重 with FORM)が 2 分 14 秒 654 で 2 位に浮上。3 位には酒井選手が 14 秒 818 で徐々にタイムアップしてきた。

7 周目、酒井選手がさらにタイムを縮め鈴木選手をかわし 2 位に浮上。鈴木選手 3 位、宮本選手が 4 位に続く。

8 周目、吉田選手は 2 分 14 秒 215 と若干タイムを縮めトップを堅守。2 位酒井選手、3 位鈴木選手、4 位には西田光来選手(FTK・REV RACING GARAGE)が浮上してきた。宮本選手 5 位、前回優勝の箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)が 6 位につける。

予選終了直前の 9 周目、箕浦選手が 2 分 14 秒 597 で鈴木選手と宮本選手をかわして 3 位にジャンプアップ。

予選終了。ポールポジションは吉田選手、2 位酒井選手、3 位箕浦選手、4 位鈴木選手、5 位西田選手、6 位宮本選手と続いた。しかし、酒井選手が出したベストタイムは、スプーンでのトラックリミットペナルティーを受けタイム抹消。酒井選手は 6 位に降格となった。

この結果、ポールポジションは吉田選手、2 位箕浦選手、3 位鈴木選手、4 位西田選手、5 位宮本選手、6 位酒井選手という順で予選を終えた。

ジェントルマンクラスは、総合で 14 位につけた山根一人選手(光精工 TK-Sport MYST)がポールポジションを獲得した。

決勝は明日 7 日、午後 1 時 55 分より 10 周で行われる。吉田選手が優勝すれば逆転チャンピオン。酒井選手は吉田選手の前でゴールしなければチャンピオンを逃がす。2 人のチャンピオン争いに注目だ。

ポールポジション 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)

「最高の滑り出しですね。先週のもてぎで酒井選手にやられたので、その分をここで取り返そうと思います。出ていったときにトラフィックで引っかかっていて、タイヤが暖まったときに前との間隔を離して一発出しました。そこからは集団を抜きながらどこかでタイムを縮めればと思っていました。最初から最後まで安定したラップを刻めるので、クルマは決まっています。あとはポールからなのでぶっちぎりで勝ちたいと思います」



2 位 箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)

「あまり調子がよくなくてぎりぎり攻めていたんですが、タイムが上がっていませんでした。前回の富士から調子がよくなくて今回もこんな感じです。トップと差はありますが、2 位だったのは良かったです。決勝で合わせ込めたらと思います。SC が出たらなんとか行けるかも知れません」



3 位 鈴木七瀬選手(ネットヨタ三重 with FORM)

「タイヤを温めるために最後から出て行っただんですが、タイミングよく暖まったときに前が開けて走れました。チームが作ってくれたセッティングが合っていて狙い通りでした。いままで予選が 5 位、決勝 4 位が最高位でしたが、ひさびさのセカンドローなので、気負わずいきたいと思います」



決勝レース



スーパーFJ 地方選手権鈴鹿・岡山シリーズ最終第6戦は12月7日、鈴鹿サーキットで決勝が行われた。泣いても笑っても最後のレース。このレースで今シーズンのチャンピオンが決定する。

決勝は午後1時55分にフォーメーションラップが始まった。天候は快晴で、昨日に比べ気温も上がり気味。初冬の鈴鹿は穏やかな気候のなかで決勝を迎えた。25台(うち4台はジェントルマンクラス)が参加したが、後方の堀隼登選手(レヴレーシングガレージ#3)が動けず、ピットに押し戻されピットスタートとなった。

好スタートを切ったのはポールポジションの吉田選手でトップで1コーナーへ向かう。予選2位の箕浦稜己選手(MYST SEIDOYA KK-SII)は加速が悪く、同3位の鈴木七瀬選手(ネットトヨタ三重 with FORM)が2位に上がる。逆に抜群のスタートを切ったのが予選6位でチャンピオンを争う酒井選手。酒井選手はイン側から素晴らしい加速で前車をパスし4位に上がると、1コーナーで3位に後退していた箕浦選手を捉えて3位に上がった。4位に落ちた箕浦選手の後ろには5位の西田光来選手(FTK・REV RACING GARAGE)が続く。

その後方では6位争いをしていた土橋皇太選手(Rn-sports 制動屋 KK-S2)と板倉慎哉選手(AMORE TOKYO☆表参道☆KKSII)がS字コーナーで接触。イン巻きしてきた板倉選手と宮本颯斗選手(MYST KKS2)も絡んで3台がコースアウトした。3台とも順位を落としたもののコースに復帰したため、セーフティーカー(SC)が導入されることはなかった。

またデグナーではデビューレースを予選13位からスタートした田崎脩馬選手(制動屋 MYST)がスピン。レースに復帰したものの最後尾近くまで順位を落とした。

トップに立った吉田選手は早くも後続を引き離しにかかる。2位争いは、鈴木選手、酒井選手、箕浦選手の3台が接近戦。シケインでは酒井選手が鈴木選手のインを差し2位に上がった。酒井選手はオープニングラップで予選順位の6位から2位まで順位を上げた。

1周目、トップ吉田選手は後続を1秒4離して戻ってきた。2位酒井選手、3位鈴木選手、4



位箕浦選手、5 位西田選手で、6 位にはオープニングラップの混乱をかわした杉田悠真選手(LAPS with REV RACING GARAGE)が上がってきた。

3 周目、トップ吉田選手は 2 位の酒井選手を 1 秒 7 離れた。3 位鈴木選手、4 位箕浦選手だが、ペースの上がない西田選手が 1 コーナーで杉田選手にかわされ 6 位に落ちた。



4 周目、総合 9 位と健闘していたジェントルマンクラスのトップ山根一人選手(光精工 TK-Sport MYST)が S 字コーナーでクラッシュ。山根選手のマシンの排除のため SC が導入さる。これで吉田選手のリードは水泡に帰す。SC は 6 周終わりでピットイン、レースは 7 周目から再開された。

リスタートでは、トップ吉田選手が 130R を立ち上がってから加速。吉田選手はシケイン立ち上がりの加速がよく、

2 位酒井選手とのギャップを作ってコントロールラインを通過。3 位には鈴木選手が続くが、4 位箕浦選手と 5 位杉田選手はテールトゥノーズ。1 コーナーで杉田選手はインから箕浦選手をパスして 4 位浮上、箕浦選手は 5 位に落ちた。しかし箕浦選手も負けていない。130R では杉田選手のアウトから並びかけシケイン手前で 4 位を奪い返した。

7 周目、トップ吉田選手は 2 位酒井選手を 1 秒 1 差に従えて戻ってきた。吉田選手をパスしないと戴冠できない酒井はなんとしても吉田選手を捉えたいところだがその差は縮まらない。

8 周目、トップ吉田選手と 2 位酒井選手の差は 1 秒 2 と開く。3 位鈴木選手はさらに 1 秒 6 後方だが、その後ろには 4 位争いを演じてきた箕浦選手と杉田選手が迫り、やがてこの 3 台はワンパックとなった。6 位にはペースの上がない西田選手をかわした藤井翔太選手(Drago CORSE)が上がる。



トップ吉田選手は盤石の走りで 2 位の酒井選手を徐々にリード。10 周を回って今季 3 勝目、初

のポールトゥウインを飾った。2 位は酒井選手が続いた。3 位争いの鈴木選手、箕浦選手、杉田選手は互いに決め手がなくこのままの順位のままゴール。6 位には大きく遅れて藤井選手が入った。

マスタークラスは総合で 16 位に入った中嶋匠選手(AVIATOR A ONE)が優勝した。

優勝した吉田選手は優勝ポイント 20 を加え、選手ポイントを 87 に伸ばした。一方、酒井選手は有効ポイント制のため 3 ポイントしか加算できず 85 ポイント。このため鈴鹿・岡山シリーズのチャンピオンは 2 ポイントという僅差で吉田選手の頭上に輝いた。

また全戦がポイント対象となる鈴鹿独自のチャレンジカップレースチャンピオンは、全戦で表彰台に登った酒井選手が獲得した。

このレースをもって今シーズンの鈴鹿・岡山シリーズは終了。この後、12 月 20～21 日はスーパーFJ 日本一決定戦が富士スピードウェイで開催される。各ドライバーが「目指すのは日本一決定戦の優勝」と口をそろえるクリスマス前の熱い戦いに注目だ。



優勝・シリーズチャンピオン 吉田馨選手(TAKE FIRST KKS-2)

「初動は自信があって、スタートしてから後ろを引き離せました。SC が入ってマージンがなくなって、やばいかなと思ったんですが、自分の気持ちをうまくコントロールでき、リスタートを決められました。そこからのペースは自信があったので、落ち着いて走れたと思います」

「酒井選手が 1 周目で 2 位に上がってきたので、びびったところはありませんでしたが、ぼくの方がペースは速いと思って走っていました」

「今シーズン初戦は優勝できたのですが、その後は、これだけ速い選手がみんな前にいるという状況で、厳しかったです。今回やっとポールポジションを取れて、みんながいるなかの 1 位になれたので、素直にうれしいです。日本一決定戦は 1 年間の目標なので取りに行きます」

2 位 酒井翔太選手(ファーストガレージ KK-S2)

「JAF 戦がメインだったのでめちゃ悔しいです。どんな順位であれぼくが吉田選手の前にいないといけなかったのに、昨日の予選から流れが悪くなってしまいました。自分のミスだったのでそこは反省しないといけないです」

「スタートで後ろについてやろうという気持ちがすごくあったので、それはいけましたが、やっぱり吉田選手が序盤から速くて、厳しいレースでした」

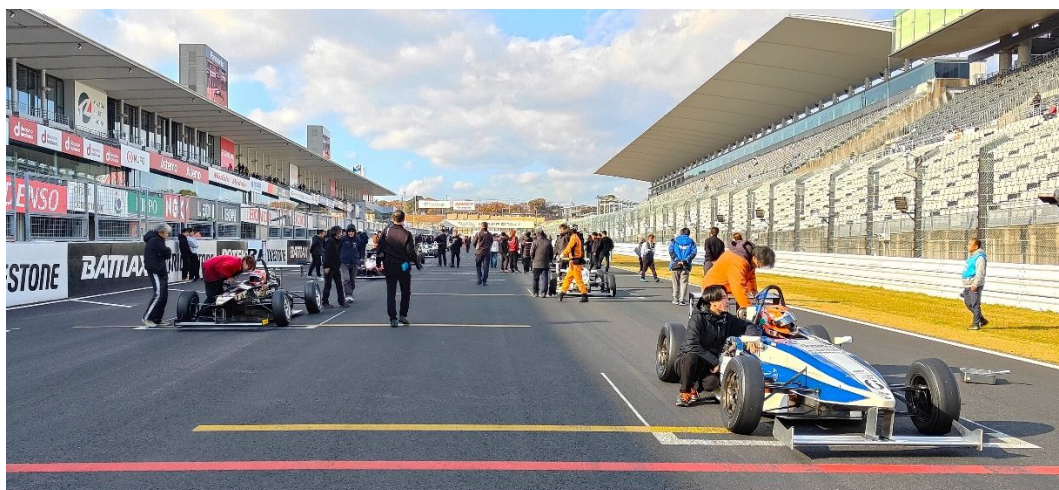
「S-F」全シリーズチャンピオンを目指していたんですが、もてぎ・菅生、オートポリスはチャンピオンで、筑波・富士、鈴鹿・岡山が 2 位でした。途中までいい流れできていたのに、巻き返されたのはすごく悔しいです。日本一でもうひとつタイトルを取って悔しい気持ちを晴らしたいと思います」

3 位 鈴木七瀬選手(ネットトヨタ三重 with FORM)

「スタートは過去を含めてもイメージ通りで 1 コーナーに 2 位で入れたんですが、ペースが苦しくて守りの展開になりました。楽な展開ではなかったんですが、表彰台に上がったのはワンステップできてよかったと思います。セーフティーカーとか後ろが競ったので、そういう展開にも助けられたと思います。東コースで詰められましたが、西コースが速かったなのでそこは自信をもってセーフティーカー明けから走っていました。日本一は出る予定はないので、来年に向けて準備をしたいと思います」



ジェントルマンクラス 3位/古里 拓選手 1位/中嶋 匠選手





2025 SUZUKA CHAMPION CUP Final Round



No.20

2025 鈴鹿・岡山選手権シリーズ第6戦

スーパー FJ 公式予選

2025/12/6 16:15



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Weather: Fine

Track: Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Best Time	Gap	Lap	
1	6			吉田 馨	TAKE FIRST KKS-2	KK-S II	DL	2'14.215		8 / 9	
2	56			箕浦 稜己	MYST SEIDOYA KK-S II	KK-S II	DL	2'14.597	0.382	9 / 9	
3	18			鈴木 七瀬	ネッパ33三重 with FORM	KK-S II	DL	2'14.654	0.439	6 / 9	
4	8			西田 光来	FTK-REV RACING GARAGE	KK-S II	DL	2'14.687	0.472	8 / 9	
5	12			宮本 颯斗	MYST KKS2	KK-S II	DL	2'14.724	0.509	7 / 9	
6	22			酒井 翔太	ファーストカレッジkks2	KK-S II	DL	2'14.818	0.603	5 / 8	
7	55			板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	2'14.969	0.754	8 / 9	
8	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING GARAGE	KK-S II	DL	2'15.076	0.861	4 / 9	
9	11			土橋 皇太	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	DL	2'15.098	0.883	9 / 9	
10	34			藤井 翔大	Drago CORSE	KK-S II	DL	2'15.108	0.893	8 / 9	
11	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KKS-2	KK-S II	DL	2'15.206	0.991	6 / 9	
12	61			一宮 総太朗	MYST KK-S II	KK-S II	DL	2'15.467	1.252	7 / 9	
13	21			Tasaki Shuma	制動屋 MYST	KK-S II	DL	2'15.787	1.572	7 / 9	
14	47	G	1	山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	DL	2'15.800	1.585	9 / 9	
15	19			太田 操増	MYST 制動屋 KK-S II	KK-S II	DL	2'16.325	2.110	6 / 9	
16	5			河野 晃大	レヴレーシングカレッジ	KK-S II	DL	2'16.325	2.110	8 / 9	
17	17	G	2	中嶋 匠	AVIATOR A ONE	KK-S II	DL	2'16.407	2.192	9 / 9	
18	50			伊藤 聖七	KK-S II	KK-S II	DL	2'16.530	2.315	8 / 9	
19	57			Shinnosuke Azuma	サンセルモMYST/ORM	KK-S II	DL	2'16.614	2.399	9 / 9	
20	3			堀 集登	レヴレーシングカレッジ #3	KK-S II	DL	2'16.646	2.431	8 / 9	
21	37			阪本 一世	免許とるなら大阪サヤマ☆EAGLE	KK-S II	DL	2'16.980	2.765	9 / 9	
22	4	G	3	古里 拓	FLEETレヴレーシングカレッジ	KK-S II	DL	2'17.248	3.033	9 / 9	
23	9	G	4	上吹越 哲也	FTK-レヴレーシングカレッジ	KK-S II	DL	2'17.713	3.498	4 / 9	
24	59			村上 太晟	ファーストカレッジKK-S2	KK-S II	DL	2'18.455	4.240	8 / 9	
25	72			久保 直也	AQUA-NUTECだーはまRC	WEST07J	DL	2'19.675	5.460	1.220	8 / 9

***** 以上予選通過 (2'54.835 - 130%) *****

※G...ジェントルマンクラス

Start Time:14:40'00 Finish Time:15:00'00

Entry :25 Start :25

当該タイムを採用しない (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則第58条6) (走路外走行))

No.50(2'18.894、2'16.479)、No.3(2'19.566、2'18.256、2'16.895、2'17.805、2'17.559)、No.55(2'15.878)、No.10(2'14.862、2'15.030、2'14.816)、
 No.21(2'18.480)、No.57(2'18.784、2'17.147)、No.61(2'16.605)、No.11(2'15.531、2'15.198、2'16.051)、No.37(2'17.508)、
 No.22(2'15.391、2'14.567、2'14.857)、No.34(2'15.603)、No.56(2'17.619)、No.6(2'14.313)、No.13(2'15.046)



2025 鈴鹿・岡山選手権シリーズ第6戦

No 34

スーパー FJ 決勝

2025 / 12 / 7 15:30



SUZUKA CIRCUIT

正式結果表

Weather : Fine

Full Course 4-Wheels(5,807m)

Track : Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Team/Car	Type	Tire	Lap	Total Time	Gap	Best Time
1	6			吉田 馨	TAKE FIRST KKS-2	KK-S II	DL	10	26'12.130		2'14.392
2	22			酒井 翔太	ファーストカレッジ'kks2	KK-S II	DL	10	26'13.666	1.536	2'14.585
3	18			鈴木 七瀬	ネット39三重 with FORM	KK-S II	DL	10	26'16.236	4.106	2'15.067
4	56			箕浦 稜己	MYST SEIDOYA KK-S II	KK-S II	DL	10	26'16.569	4.439	2'14.949
5	10			杉田 悠真	LAPS with REV RACING GARAGE	KK-S II	DL	10	26'17.344	5.214	2'14.987
6	34			藤井 翔大	Drago CORSE	KK-S II	DL	10	26'20.642	8.512	2'15.588
7	61			一宮 総太郎	MYST KK-S II	KK-S II	DL	10	26'20.874	8.744	2'15.473
8	8			西田 光来	FTK・REV RACING GARAGE	KK-S II	DL	10	26'22.045	9.915	2'15.974
9	13			武者 利仁	KF MOTORSPORT KKS-2	KK-S II	DL	10	26'24.722	12.592	2'15.641
10	11			土橋 皇太	Rn-sports制動屋KK-S2	KK-S II	DL	10	26'27.856	15.726	2'15.284
11	57			Shinnosuke Azuma	サンセルモMYST/ORM	KK-S II	DL	10	26'28.031	15.901	2'16.234
12	55			板倉 慎哉	AMORE TOKYO☆表参道☆KKS II	KK-S II	DL	10	26'30.720	18.590	2'16.389
13	12			宮本 颯斗	MYST KKS2	KK-S II	DL	10	26'31.188	19.058	2'15.702
14	19			太田 理増	MYST 制動屋 KK-S II	KK-S II	DL	10	26'35.973	23.843	2'17.852
15	37			阪本 一世	免許とるなら大阪サマ☆EAGLE	KK-S II	DL	10	26'36.594	24.464	2'17.407
16	17	G	1	中嶋 匠	AVIATOR A ONE	KK-S II	DL	10	26'37.268	25.138	2'17.410
17	5			河野 晃大	レヴレーシング'カレッジ'	KK-S II	DL	10	26'38.231	26.101	2'18.423
18	9	G	2	上吹越 哲也	FTK・レヴレーシング'カレッジ'	KK-S II	DL	10	26'38.639	26.509	2'18.673
19	59			村上 太晟	ファーストカレッジ'KK-S2	KK-S II	DL	10	26'39.254	27.124	2'18.459
*1	20			Tasaki Shuma	制動屋 MYST	KK-S II	DL	10	26'41.577	29.447	2'16.154
21	72			久保 直也	AQUA-NUTECだーはまRC	WEST07J DL	DL	10	26'42.979	30.849	2'19.417
22	4	G	3	古里 拓	FLEETレヴレーシング'カレッジ'	KK-S II	DL	10	26'57.058	44.928	2'17.811
*2	23			伊藤 聖七	KK-S II	KK-S II	DL	10	26'57.366	45.236	2'16.497
24	3			堀 隼登	レヴレーシング'カレッジ' #3	KK-S II	DL	9	26'40.962	1Lap	2'17.750
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****											
47	G			山根 一人	光精工 TK-Sport MYST	KK-S II	DL	3	6'56.733	7Laps	2'16.889

Fastest Lap

G	2'14.392 (9 / 10)	155.554 km/h	6	吉田 馨 / TAKE FIRST KKS-2
	2'16.889 (2 / 3)	152.716 km/h	47	山根 一人 / 光精工 TK-Sport MYST

Start Time :14:00'13 Finish Time :14:26'25

Entry :25 Start :25 Finish :24

※G...ジェントルマンクラス

SC導入時刻 :14:08'07(3Laps)~14:17'26(6Laps)

*1 No.21は、タイムパナリティ10秒 (SUZUKA CHAMPION CUP RACEシリーズ規則 第62条1)⑧ (ホワイトラインカット))

*2 No.50は、競技結果に対して30秒加算 (国際モータースポーツ競技規則 付則H項 2.10.10(SCリスタート時の追越し))

